

# 第2回 半田市立半田病院 新病院建設候補地検討委員会

平成30年1月22日（月）

1

## 議 事

### **(1) 新病院建設候補地について**

- ① **前回の会議での主な意見**
- ② 雁宿ホール周辺を含めた建設コスト・工期について
- ③ 活断層について
- ④ 経営面について

2

## 第1回半田市立半田病院新病院建設候補地検討委員会 において、委員から出た主な意見

- ◎ 早期に新病院を建設することができること。（市有地であること。）
  - 以前の会議では、市街化調整区域では時間がかかるという説明があったが、期間を短縮する目途はあるのか。
  - 新しい場所を選定することとなった大きな理由の1つは知事からの助言である。知事が仲裁した以上、事業のスピードアップは期待できるのか。
  - **半田運動公園及び北部グラウンドに移転した場合、経営を圧迫するのではと危惧している。**半田市民が病院を利用しなかったら、県から赤字補てんされるのか。反対に市民の負担が増えるのであるならば賛成できない。
  - 既に検討した場所のうち、運動公園と北部グラウンド以外を候補地としなかった理由は。
  - 時間をかけてしまうと半田病院そのものが消滅してしまう可能性がある。とにかく新病院を早く建設することが命題である。
  - **土地の造成費、都市ガスや下水道などのインフラ整備にかかるコストを明示して欲しい。**

3

### ◎ 400床規模の病院建物と1000台収容できる駐車場の確保が可能なこと。

- **半田運動公園、北部グラウンド以外に、雁宿ホールを候補地として検討する。**

### ◎ 災害時に機能できること。（災害拠点病院の要件を満たすこと。）

- 職員駐車場が使えない理由を教えて欲しい。
- **活断層の年代や資料の精度などについて、専門家から説明をして欲しい。**

### ◎ 平時における交通アクセス及び利便性がよいこと。

- **市民の利便性や交通アクセスについて説明して欲しい。**
- 半田運動公園と北部グラウンドで検討するのであれば、アクセス面で市民に負担をかけないようにして欲しい。
- アクセスを検討するのであれば、最寄り駅、コミュニティバスも踏まえて、市民に納得してもらえような方策を打ち出して欲しい。

### ◎ その他

- 回復期病棟について、現病棟を利用するのか教えて欲しい。
- **現地視察を実施して欲しい。（平成30年1月12日実施済）**
- 運動公園に新病院を建設する場合には、常滑市民病院との連携等が必要である。

4

## 議 事

### (1) 新病院建設候補地について

- ① 前回の会議での主な意見
- ② 雁宿ホール周辺を含めた建設コスト・工期について
- ③ 活断層について
- ④ 経営面について

5

### ③ 雁宿ホール（半田市福祉文化会館）

面積：約2.0ha



6

## ●『適切と考えられる点』

- 津波の危険性がなく、高潮浸水想定範囲、豪雨時の浸水区域でもない。
- 鉄道駅からの移動距離が短く(約200m)、また、バス停からも近い。(約300m)
- 道路、上水道、下水道、ガス管などが整備されている。

## ●『課題点』

- 加木屋一成岩断層が周辺に存在する。
- 元々が池だったので液状化の危険性がある。
- 広く市民が使用している文化・福祉施設及び公共駐車場を取り壊すため、代替施設が必要である。
- 平成25年度以降、国や県の補助金を活用して太陽光発電設備や天井耐震改修等を実施しており(事業費約5億円)、その投資が無駄になる。

7

## 建設コスト・工期

候補地	建設費	インフラ整備費	代替施設等	合計	開院予定
半田運動公園	約 296億円	約 8億円	約 6億円	約 310億円	37年5月
半田北部グラウンド	約 292億円	約 6億円	約 12億円	約 310億円	37年5月
雁宿ホール	約 300億円	0円	約 84億円	約 384億円	39年5月

設計・工事費(建築費、土地造成、立体駐車場、外構、解体など)・医療機器・情報システム・備品・引越・人件費・補助金返還・起債返還費用など

道路整備・上水道整備・電気引込・ガス引込費・污水处理施設費用など

代替施設の整備費用など



8

## 議 事

### (1) 新病院建設候補地について

- ① 前回の会議での主な意見
- ② 雁宿ホール周辺を含めた建設コスト・工期について
- ③ 活断層について
- ④ 経営面について

9



## ◎ 愛知県活断層アトラス (平成9年9月愛知県発行)



### 愛知県活断層アトラスとは？

- 昭和54年に愛知県防災会議が策定委託した「愛知県とその周辺地域における活断層と歴史地震の分布図」の改訂版として一般向けに作成されたもの。
- 平成9年2月に公表した**知多北部・衣浦東部地域の活断層調査結果**が盛り込まれている。

愛知県活断層アトラスの内容は → <http://www.pref.aichi.jp/bousai/atlas.html>

## 知多北部・衣浦東部地域の活断層調査結果

### ◎ 調査方法

#### 文献資料調査、空中写真判読及び地質踏査による調査を実施

- 文献資料調査は、地形・地質・断層などの文献を収集整理し、各断層の実態を把握。
- 空中写真判読は、昭和24年もしくは昭和36年撮影の縮尺約1/40,000、1/20,000、1/10,000の空中写真を用いて、段丘面や沖積低地面上の変位地形を判読。
- 加木屋断層、阿久比撓曲（現：加木屋-成岩断層）では、物理探査（浅層反射法、極浅層反射法）、深堀ボーリング調査を実施。

## 活断層の活動履歴、最新活動時期、次の活動までの期間

### ① 阿久比東部撓曲（確実度：Ⅱ 長さ：3.5 km）

「日本の活断層」では、加木屋断層の南端部としているが、平成8年度の愛知県の調査で**単独の撓曲**であることが判明。**この数10万年は活動した証拠は確認されていない。**

### ② 加木屋-成岩断層（確実度：Ⅱ 長さ：30 km 活動度B）

平成8年度の調査で、東海市名和町から加木屋町、阿久比町、半田市成岩に至る長さ約30 kmの連続する**新しい活断層を伴う撓曲構造（上下変位量は200m以上）**であることが判明。上下変位の平均変位速度は、0.12 m/千年と考えられ、**活動間隔は2万年以上と推定される。最新活動時期は不明**である。

### ③ 半田池撓曲（確実度：Ⅱ 長さ：8 km）

半田市板山町から常滑市矢田まで約8 kmの撓曲。**東海層群が大きく変形し、武豊層の一部も変形**している。

**確実度Ⅱ**：活断層であると想定されるが、基準地形がないなど決定的な理由がないために活断層であることが確実なものよりは確実度の低いもの  
**活動度B**：数千年から数万年に1回の間隔で活動するものとされている

13

## 議 事

### (1) 新病院建設候補地について

- ① 前回の会議での主な意見
- ② 雁宿ホール周辺を含めた建設コスト・工期について
- ③ 活断層について
- ④ **経営面について**

14

## 収支計画

### ◎前提条件

- 半田運動公園及び北部グラウンドについては、平成37年5月開院予定。
- 雁宿ホール周辺については、平成39年5月開院予定。
- 開院前(現病院)の医業収入単価は、平成30年度予算と同額
- 開院前(現病院)の修繕費は、平成30年度予算の2割増で計上
- 開院後の算定条件は、「半田市立半田病院新病院建設構想」の条件を基本として算定。
- インフラ整備費、代替施設費については含めず。
- 自己資金は約50億円とし、残り約240～250億円は企業債とする。
- 国県補助金及び企業債の返還費用、人件費を含む。
- 一般会計からの繰入金については、要望額とする。

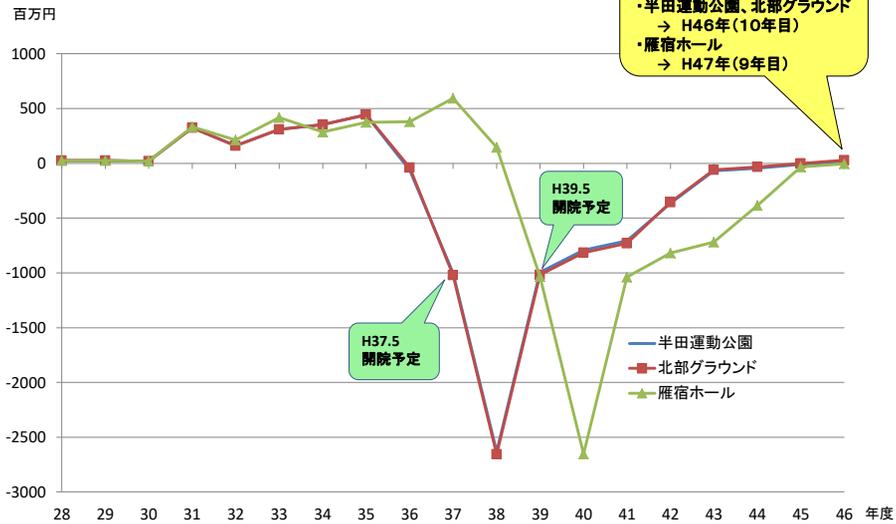
15

### ◎算定条件

- 病床数 411床
- 入院
  - ・病床稼働率 (入院患者数)
    - 1年目：85% (349.4人) 2,3年目：87% (357.6人)
    - 4年目：90% (369.9人)
  - ・入院診療単価 62,560円
- 外来
  - ・1日平均外来患者数 970人
  - ・外来診療単価 13,725円
- 正規職員数 668人  
(医師100人、医療技術職117人、看護師410人、事務職員等41人)

16

## 収支計画（純損益）



17

## 知多半島医療圏等における主な病院の機能



18

### ＜＜高度急性期＞＞

急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、診療密度が特に高い医療を提供する機能

### ＜＜急性期＞＞

急性期の患者に対し、状態の早期安定化に向けて、医療を提供する機能

### ＜＜回復期＞＞

急性期を経過した患者への在宅復帰に向けた医療やリハビリテーションを提供する機能

### ＜＜慢性期＞＞

長期にわたり療養が必要な患者を入院させる機能

19

## 医療機関の各指定状況

	救命救急センター	災害拠点病院	がん診療拠点病院等	地域医療支援病院	その他
半田市立半田病院	●	● (地域中核)	● (国指定)	●	地域周産期母子医療センター
公立西知多総合病院		● (地域)			
常滑市民病院					特定感染症指定医療機関
知多厚生病院		● (地域)			第二種感染症指定医療機関
刈谷豊田総合病院	●	● (地域中核)	● (県指定)	●	第二種感染症指定医療機関 地域周産期母子医療センター

20

### ＜＜救命救急センター＞＞

一般の医療機関では対応できない重篤な救急患者に対し、24時間体制で高度な医療を総合的に提供する施設として愛知県が指定した病院です。

### ＜＜災害拠点病院＞＞

地域中核災害拠点病院は、原則として救命救急センターの指定を受けているものから選定し、災害拠点病院の取りまとめと機能強化を通じ、当該地域の災害医療体制を強化する役割を担う病院として愛知県が指定した病院です。

地域災害拠点病院は、地域中核災害拠点病院と連携して地域の災害医療体制の向上に努める病院として愛知県が指定した病院です。

21

### ＜＜がん診療連携拠点病院・がん診療拠点病院＞＞

がん診療連携拠点病院は、質の高いがん医療が受けられるよう、地域ごとに厚生労働大臣が指定した病院です。指定されている病院は、がん医療の内容、医療従事者、診療実績、設備など一定の要件を満たしています。

がん診療拠点病院は、愛知県におけるがん診療の充実を図るために、厚生労働大臣指定の要件に準じる病院を愛知県知事が指定した病院です。

### ＜＜地域医療支援病院＞＞

かかりつけ医、かかりつけ歯科医を支援し、2次医療圏単位で地域医療の充実を図る病院として、医療法第4条の規定に基づき愛知県知事が承認した病院です。

22

## 地区別人口の分布



平成29年12月1日現在